

# 幼児のための 作曲について



美 田 節 子

作曲と申しますと神から才能を授けられたごく少数の人しかできないと思われています。確かにベートーベンやモーツァルトのような人はある特殊な才能もっています。しかし才能がないから作曲してはいけないということはないと思います。ものを作る権利はだれにもあるのです。また何か自分で作るということは、上手・下手の別はさておき、それ自身が、一つの喜びであります。作曲もそう

ですし、また何か曲が作れるということは幼児を扱う際にたいへん便利でもあります。では幼児の教育の現場で音楽を作る必要を感じた時どうすればよいでしょうか。今ここで不十分ながらインスタントで作曲する方法をお話ししましょう。先ずインスタントの場合は音楽の理論にこだわる必要はありません。自分でこうやってみようと思う方法で先ずやってみることでです。無茶苦茶をつくってもよいのです。音楽を作るに必要な基礎的な知識はすでに皆さんは、今までに知らず知らずの間に身につけていらっしやるものです。皆さんは「夕焼け」や「ハトポップ」を歌ったり、弾いたりしている間に音の扱い方を身につけてしまっぺいらっしやるのです。作曲というのはそういう音楽体験から自然に生まれてくるのです。作曲とは私たちがことばで感じることばで考えるように、音で考え、音で感じることばで感じることばです。だから一番良い判断は私たちの二つの耳で音をきくことです。耳を開いて聞きながらうたったり、弾いたりすることは、作曲をもふくめて、音楽の勉強に何よりもたいせつなことです。耳はさまざまな音楽体験を重ねていくうちにきたない音、きれいな音の区別ができるようになり開けてゆくのです。これが作曲する上での唯一のたよりです。耳で良い音だと思ったらだいたんに使えばよいのです。和声学の規則にとらわれる必要はありません。いきなり入った方がよいのです。ただ作る前に、二、三の事柄を心にとめていただきたいと存じます。

その一つはおとなが幼児の音楽を作る場合に二つの態度であります

す。つまり、「子どもになりきって、子どもに入りこんで作るか」

「おとなが子どもを想像して作るか」ということです。どちらの態度であるべきかは、これを考えればわかると思いますが、きれいな幼児の音楽を生み出すには、私たちもまた、素直なきれいな幼い心の持主でなければならぬと思います。上手な曲、いい曲を作ろうというような野心をすててごくごく平凡なものを作る心がまえであるのがよいのです。また、子どもの音楽だからといって解りやすい、やさしいということを念頭におかないでほしいと思います。最も美しい音を最も美しい方法で作ってほしいのです。要は美しい幼い心を歌い出すことです。

いま一つは、先に申しましたように、私たちは今までの音楽体験によって、自然に音楽の形式を学び取っていますから自然にある形式に従うようになっていきます。無理に新しい形式のものを作ってみようとするれば必ず不自然なものになるということを知っていただきたいと思います。

もう一つ、幼児の音楽を作る際にたいせつな問題はリズムであります。このことは一才半の幼児でもテレビの前につれてゆくと体でリズム反応をおこすことでもわかります。はじめにリズムがありそれが体と一しょに結びついていくのです。おとなでも体のどこかで筋肉が自然に反応をおこしているのですが、子どもは表情型ですみならずそれが表に出るのです。

ではこの辺からリズム感との関連において、作曲の実際的な事柄

に入りましょう。

## リズム

リズムの型には次のようにいろいろあります。

(1) 歩 行 —  $\frac{2}{4}$   $\frac{3}{4}$  または  $\frac{4}{4}$   
(2) 走 り —  $\frac{2}{4}$   $\frac{3}{4}$  または  $\frac{4}{4}$   
(3) スキップ、ギャロップ、スライド —  $\frac{2}{4}$ ,  $\frac{3}{4}$  または  $\frac{4}{4}$   
(4) スイ ング —  $\frac{6}{8}$  (または  $\frac{3}{4}$ )  
(5) ジャンプ —  $\frac{2}{4}$   $\frac{4}{4}$   
(6) 静 止 と 停 止 —  $\frac{4}{4}$   $\frac{3}{4}$

(1) 歩 行………四分音符を主体にすればよいわけで四分音符だけでやるか変化をつけて附点音符や八分音符を加えるかは自由です。 $\frac{3}{4}$ でも歩けますが $\frac{4}{4}$ の方が歩き易いと思います。子どもが歩ける早さで弾くことがたいせつです。

(2) 走 り………八分音符が主になります。テンポは早くします。

(3) スキップ、ギャロップ、スライド………スライドの時はゆっくりと気持良くリズムにのってすべれるように作ることがたいせつです。

(4) スイ ング………ハンモックやブランコのテンポを想像して作るとよいと思います。子どもに波を感じさせるようなテンポがよいので

す。八分音符を入れて少し波をうたせるのもおもしろいでしょう。  
 (5) ジャンプ……スタッカートを打って、とべるリズムにすることです。

(6) 静止と停止……これは動作をとめればよいのですから二分音符または全音符で、旋律を上下に動かさないようにしてアクセントを一つずつの音につけて音を抑えます。左手でとめても右手で音を動かしては何もなりません。メロディを動かさずに、おさえたままにするのです。

### メロディ

次はどういうふうにしてメロディを作るかということ。普段ピアノで遊んでいてよいメロディが出てきたら書きとめておくといよいのですが、即興のできる一つの手がかりとして伴奏基本型のことをお話ししましょう。①

伴奏基本型は調が変わると気分がガラッとかわってきます。たとえばト長調はあかるくいきましい感じ、ヘ長調は優雅でロマンティックな感じというふう。ですから作曲をする場合は自分で判断して一番ふさわしい調子を選

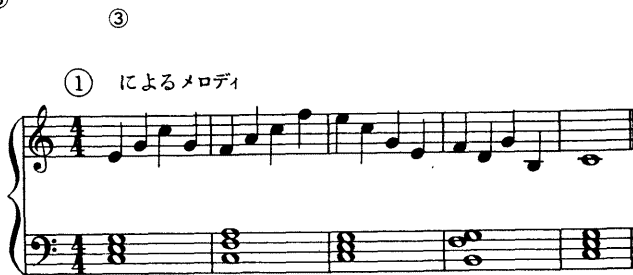
### ① 伴奏基本型 (左手で弾く)

ぶのです。また子どもには短調よりも長調の方が明るくて良いので長調についてお話してみようと思います。音楽は音の組立てから成っていてそれを和音といいます。和音の主なものに音階の一度上に三度の間隔で組み立てられた一度、四度上に作られた四度、及び五度上に作られた五度の三つがあります。②

メロディを作る場合、音がとび歩いていることは望ましくありません。

せん。できるだけ近く、音になめらかに美しく移ってゆくこと、上ったり下ったりしながら美しい線を描いて進んでいくのがよいのです。先ず伴奏基本型をいろいろの調子でピアノで弾いて遊んでみることで、弾き慣れてきましたら次に左手の和音に入っている音をメロディにして簡単なリズムのものを弾いてみます。③

その場合導音（音階の第七度）をメロディにたくさん用いることはなるべくさけた方がよいのです。一日に各調五回位、自分で聞きながら弾くことから始め、それにリズムをつけていきます。慣れてきたらメロディが自然にうかんでくるようになりますから、今度はそれに伴奏をつけるようにするのです。その場合、伴奏がいつも和



音では能なしですからメロディにあうようにくずしてゆきます。

④に伴奏型の主なものをハ調で書いておきましたから基本型になれたらどれかの伴奏型をメロディとしよに弾いてみて下さい。

⑤①は左手の和音にある音を右手で弾いていったもので②は①に八分音符で少し変化をつけたものです。作曲をする場合、メロディには一番音の高い所（曲の山）を作りそれをだんだんしずめてゆくようにすること、同じ所で同じ変化をつけるといいこと、また二小節同じ音型をくり返すこと、などに気をつけて作るとよいと思います。

「走り」の場合は⑤①のように同じ音の上下に八分音符の音を入れたり、三度の音程のところへ八分音符を挿入したりして動かしていきます。

⑤①はスキップです。3/8拍子でやってもよいと思います。ジャンプは左手の和音もスタックカートにします。スイングはゆれを伴奏でつけ音をじつともたせて弾きます。（⑤①の）

つまさきの動作をする場合の例が⑥。

また子どもが綱引きをするとか物を押したりする動作には左手の伴奏をつけてあげたり、衝突したような場合は衝突したような音をつかうとおもしろいと思います。

### 歌詞とメロディ

次に歌をいかにして作るかという事です。歌詞はリズムのはつきりしたのをつかいます。はじめにリズムよみをやってことばのリズ

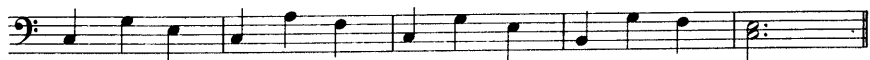
④

## 伴 奏 型

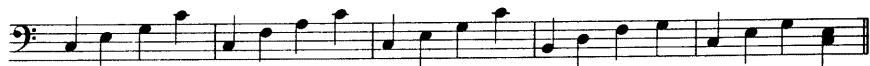
1) 2 拍子



2) 3 拍子



3) 4 拍子



4) 6 拍子



⑤



⑥

Musical score for the first piece, 2/4 time signature, treble and bass clefs. The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef.

Musical score for the second piece, 3/8 time signature, treble and bass clefs. The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef.

リズム読みの一例

もう ちゃん もう ちゃん

お な か が す いた の ね

Musical notation for the rhythm reading example, showing the lyrics and corresponding notes. The time signature is 2/4.

\*  
\*  
\*

時間の都合上これ以上申し上げることができず残念でございますが、ざっとインスタントな作曲法についてのべてみました。何よりもまずピアノの上で遊ぶことから始めてみてください。  
(お茶の水女子大学)

ムにあわせて小節を区切って行きます。それから作曲にとりかかるとは、日本語は英語などちがってアクセントが高低にあって、地域によってそれがかなりちがっていますので歌詞につけにくいのは確かです。

それで次の三点に注意して作曲なさるとよいと思います。

(一)ことばのアクセントのあるところに強拍部をおく。

(二)アクセントのあることばに長い音を与える。

(三)アクセントのあるところに高い音を与える。

また、子どもは問答形式の歌をとても喜びますから、そういう歌をたくさんお作りになることをおすすめいたします。